

令和 2 年度

事務事業評価表 (令和元年度 の実績評価)

記入年月日
令和 2 年 4 月 15 日

事務事業名	水戸線整備促進期成同盟会参画事業		事業区分		担当		
			新規/継続	継続	事務事業No.	050403000291	
			単独/補助	単独		010201	
政策体系	総合計画の施策名	0504	公共交通の充実		所属課	企画課	
	政策名	05	快適な暮らしのまちづくり		課長名		
	施策名	04	公共交通の充実		グループ	企画グループ	
	手段名	03	③公共交通の利用促進		担当者名		
	財務会計上の位置付け				事業期間		
予算科目	会計	款	項	目	一般会計		
	01	02	01	08	01 00 企画事業		
法令根拠					単年度繰返し (昭和61年度~)		
					☞ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入		

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
① 事務事業の概要 (事務事業の全体像) 当協議会は、水戸線の利便性向上を図るため、以下の事業を実施する。 ① 鉄道施設などの整備促進のための要望活動 ② 水戸線の運行ダイヤ改善のための要望活動 ③ 水戸線・両毛線の相互乗り入れの充実のための要望活動 ④ 水戸線沿線地域の活性化を図るための利用促進活動 ⑤ その他、目的達成のために必要と認められる事業の実施 現在は、国会、関係省庁、JR水戸支社・東京本社に対しての要望活動や、利用促進のための構成市町村による意見交換、イベント等を行う。また協議会で「駅からハイキング活動支援助成金事業」を設置して、水戸線の利用促進につながる駅からハイキング事業に対して助成を行っている。 構成自治体は、茨城県内、水戸市、結城市、筑西市、桜川市、常陸市、ひ	② 担当者が行う業務の内容・やり方・手順 ・ 会議への参加、要望事項の取りまとめ、その他必要事項の調整・実施。 ・ 負担金の支払い事務 ・ 水戸線利用促進PR事業の展開 令和元年度は真壁のひな祭りにおいて、福来みかんクッキーを500個配布

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
① 手段 (担当者の活動内容)	④ 活動指標 (活動量を表す指標)	単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	03年度 (目標)	04年度 (目標)
・ 会議への参加、要望事項の取りまとめ、その他必要事項の調整・実施。 ・ 負担金の支払い事務 ・ 水戸線利用促進活動支援助成金 ・ 助成金を利用した駅からハイキング実施に係る事務	要望活動回数	回	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
	意見交換回数	回	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
	PR活動数	回	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤ 対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	03年度 (目標)	04年度 (目標)
JR東日本 (本社、水戸支社)	要望した事項	件	10.00	9.00	10.00	10.00	10.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③ 意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥ 成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	03年度 (目標)	04年度 (目標)
JR水戸線の利便性を向上させる。	改善した事項	件	1.00	0.00	1.00	1.00	1.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移		30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	期間限定総投入量			
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
			県支出金	千円	0	0	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0
			使用料・手数料	千円	0	0	0	0
			その他	千円	0	0	0	0
			一般財源	千円	18	18	18	0
			事業費計 (A)	千円	18	18	18	0
	正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人			

01年度事業費 実績 (千円)		02年度事業費 予算 (千円)	
19 負担金補助及び交付金	18	19 負担金補助及び交付金	18
合 計		18	18

事務事業名	水戸線整備促進期成同盟会参画事業	事務事業No.	50403000291	所属課	企画課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
昭和61年に、JR水戸線の輸送力強化を図るため、水戸線の複線化を推進する組織として設立、その後鉄道の利便性向上を図るための施設整備や、運行ダイヤの改正、利用促進のための取り組みを目的として、現組織になった。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
議会より、より一層の利便性向上を求めるよう意見があった。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 公共交通の維持・確保は政策の柱の一つでもあり、結びついている。
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 地域公共交通の維持・活性化は、市民生活に直結する問題であり、公共の関与は妥当である。
有効性	③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 行政側からの一方的要望のみではなく、JRとの連携により利便の向上と利用促進が図れる部分があるが、令和元年度の要望が実現したものは0件となっている。
	④ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 沿線市町村が連携して行う取り組みであり、桜川市単独で休止すれば組織の枠組みに大きな影響が出る。	
効率性	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性がありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名
	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 他にもバス・タクシーといった公共交通の活性化を目的とした組織・取り組みはあるが、取り巻く環境や対象となる運行事業体の状況も異なり、統廃合や連携は難しい。
公平性	⑥ 事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 同盟会で調整された負担金であることから、削減は難しい。必要最小限の職員で対応しており、これ以上の削減は難しい。
	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 公共交通の維持・確保は、多くの市民の生活に影響する問題であることから、公正・公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																										
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	同盟会からの駅からハイキング活動支援助成金を活用して、H27年に鉄道利用の促進と市内観光客の増加を目的とした駅からハイキングの実施に向け、観光誘致ポスターを作成した。 平成30年度及び令和元年度は、水戸線に乗って真岡SL乗車体験ツアーを開催するなどの利用促進活動に取り組んだ。																										
③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																											
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止				(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加					○										
				成果	向上 維持 低下			コスト																				
削減	維持	増加																										
				○																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		(6) 事務事業優先度評価結果																										
人口減少に伴い、JR水戸線の利用率も低くなっている。利用率が低いためダイヤも少なくなり、利用率がさらに下がる悪循環となっていると思われる。主に通勤・通学時間帯のダイヤ増。また小山発下館止まりのダイヤが多くあるため、岩瀬までの延伸の要望を継続して行っていく。		成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ⑧																										

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>